

HASHIRA HOUSE



CONCEPT

記憶に新しい東日本大震災で多くの命が犠牲になった。中でも、津波による被害は甚大なものだった。そこで私たちは、今後津波がやってきたときに少しでも津波から街や人を守り、被害を少なくできるような街づくりを考えた。

今回私たちは、人々が普段多くの時間を過ごす戸建て住宅に着目した。戸建て住宅は、マンションなどに比べ高さがなく、家ごと津波に飲み込まれてしまう。そこで私たちは、戸建て住宅にも高さを付ける事により、建物自体はもちろん、人々を津波から守る方法を考えた。

SYSTEM

津波から建物を守るために、建物を浮かせて、津波を建物の下を通すことにより、建物と津波の衝突を回避する。

建物を浮かすために、建物の四隅に1m角の柱を埋める。津波が来たら、建物が柱伝いに上がっていく。津波の水はすぐには引かない場合も考慮し、柱の中に、水道管、ガス管、電気など、最低限の設備類を集約させておく。こうすることにより、建物が上がっている状態でも、少しの間なら暮らすことができる。